

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

施設名	中野ここわ保育園
法人名	株式会社ディアローク
法人所在地	東京都渋谷区渋谷3-8-12 渋谷第一生命ビルディング7階

1. 活動のテーマ

<テーマ>

当園が開園以来継続して行っている教育活動の中の【英語】を活かしながら【ことば】についての探究活動を実践し、非認知能力の向上等の保育内容の充実を図ります。2025年度はことばの中でも英語と日本語の【オノマトペ】に注目をします。

<テーマの設定理由>

当園は開園以来、外国人英語講師が週2日来園し、レッスンでは保育者も生徒として園児と一緒にレッスンを受け、保育者も園児も英語は身近なことばとして存在しています。2024年度は子どもたちが同じ絵本、同じメロディの歌を日本語と英語で体験、体感することで、ことばに対する興味が拡がりました。2025年度は子どもたちがさらに主体性を持って活動するように、ことばの中でも英語と日本語の【オノマトペ】に注目しようと考えました。

2. 活動スケジュール

【問いかけ】保育者が動物の鳴き声について問いかけました。「この動物はなんて鳴くか知っている?」「動物園で何て鳴いていたか聞いたことがある?」「ロバート先生は英語の先生だけれど、英語でも同じ鳴き声なのかな?」子どもたちは、「ロバート先生は、英語しか話せないんだよ。でも動物の鳴き声は同じだよ。」「英語と日本語だと動物の名前が違うから、きっと鳴き声も違うんだよ。」日本語と英語は違うことばということは理解しているようです。

【流れ】英語講師の来園日には、英語で動物の鳴き声の入った歌を歌ったり、動物以外の擬態語や擬音語《オノマトペ》の入った英語絵本の読み聞かせなどを行い、保育者は子どもたちと一緒に参加します。また自由遊びの時間に保育者が日本語で動物の鳴き声の入った歌を歌い、英語講師は子どもたちと一緒に参加します。また皆で一緒に英語で使っている絵カードで《オノマトペ》遊びをします。このように、子どもも大人も一緒に英語と日本語での《オノマトペ》を共有します。発話が難しい乳児クラスでも日本語、英語の《オノマトペ》を体験します。

【探究活動の実践と記録】英語活動の際には保育者が記録し、日本語活動の際には保育者ととも英語講師も記録し、特に子どもが英語を発している際のことばや音の聞き分けを担当しました。

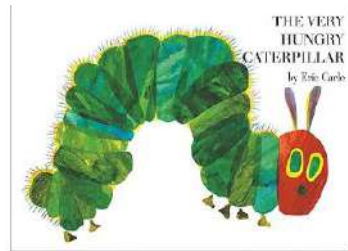
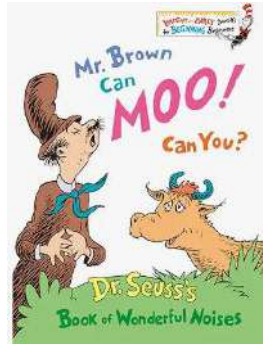
【振り返りや共有】毎月月末に英語講師と職員のブリーフィングをおこなっているので、そこで探究活動の共有を行い、次月の問いを考え環境設定や探究活動のスケジュールを話し合います。保育者同士は職員会議で振り返りや共有を行います。

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

【環境設定】英語講師の来園日に探究活動を行うよう環境を設定しました。

【素材】

- * 同じメロディの日本語と英語の歌：「ゆかいな牧場」と"Old McDonald had a farm"
- * 絵カード：動物、乗り物、オノマトペ絵カード
- * 英語のオノマトペ絵本："Mr. Brown can moo"
- * 2024年度に使用した英語の絵本："The very hungry caterpillar","Today is Monday"



4-①. 探究活動の実践（日本語）

<活動の内容>①「ゆかいな牧場」を保育者が日本語で歌う。英語講師も同席して一緒に聞く。 7月

*4歳児クラス：「ゆかいな牧場」を保育者が日本語で歌う。

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

保育者と次に出てくる動物、鳴き声を確認してから歌うと、わかるところをくちずさむ。七面鳥と聞きイメージがわからない子もいたが「食べれるやつだ!」と知っている子が反応していた。鳴き声を繰り返すところでは友だちと顔を見合わせて楽しそうにしていた。

4-①. 探究活動の実践（英語）

<活動の内容>①「ゆかいな牧場」と同じメロディ"Old McDonald"を英語で歌う。英語のオノマトペの絵本"Mr.Brwon can say moo!"を英語講師が読み聞かせる。8月

*4歳児クラス：「ゆかいな牧場」と同じメロディ"Old McDonald"を英語で歌う。

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

「イアイアヨ」と繰り返しの所を大きな声で歌う。出てくる動物の声の違いに気付き「ブーブーじゃないの?」と最初はいう姿も見られたが、すぐに英語の鳴き声で真似していた。違和感が楽しいようで友だちの顔を見合わせ笑顔で歌っていた。



5-①. 振り返りと次回への問い

<振り返りによって得た先生の気づき>

【振り返り】動物の鳴き声の違いに気付き、その響きや違いを楽しんでいた。実際に言ってみると違和感からか友だちと顔を見合わせ笑顔を見せていた。同じメロディーで違う部分があることがあることから、交互に口ずさみ英語と日本語の違いを楽しむ姿が見られた。

【次回への問い】英語のレッスンで使用しているカードをレッスンで使う場合と、自由遊びの中で同じカードを使うことで、子どもたちは英語をより発するようになるのか、またどのようにカードを使って活動するのだろうか？

4-②. 探究活動の実践（英語絵カードを英語レッスン中に使う）

<活動の内容>②英語レッスン中に"Animal"（動物）の英語絵カードを使う 8月

*4歳児クラス：動物フラッシュカード

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

フラッシュカードを見ると自然と英語で動物の名前を言う姿があった。保育者の「どんな鳴き声？」という問いかけに対して日本語で応える姿が多かった。英語講師と交代し、英語講師が英語で鳴き声を言うと「えー！違う！」と違いを楽しむ姿が見られた。英語講師が言った鳴き声を真似して見たりする姿もあった。

動物フラッシュカードを見ながら保育者と一緒に動物の鳴き声を考えてみる。次に英語講師が鳴き声を発音し、日本語と英語の違いを耳でしっかりと聞き取っていた。その上でどうぶつ図鑑の鳴き声をみんなで聞き、本当の鳴き声を確認すると、「どっちも違うよ！」と本物の鳴き声を真似する姿もあった。



4-②. 探究活動の実践（英語絵カードを自由遊び中に使う） 9月

<活動の内容>②自由遊び中に"Animal"（動物）の英語絵カードを使う。（子どもたちがどのように見立て遊びをするのか、また英語で使っているカードなので、レッスンではなくても英語で言うのか。また英語講師同席の場合と、そうでない場合の遊び方にも違いが出てくるのかなど）英語と日本語のどうぶつなきごえを比較した後、本当の動物のなきごえを図鑑を通して皆で聴く。

*4クラス：絵カードを用いて動物の名前を言ったりなきごえを真似たりする。

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

英語講師不在時に自由遊びの中で英語絵カードが机に並んでいるのを見て、「これはブタだよ」と動物の名前を言う。保育者が鳴き声はどうか尋ねると、「ぶーぶー」と答える子「あと英語ではおいおいじゃなかった？」と友だち同士で話す姿が見られた。英語講師が在籍している時には一緒に動物の名前を英語で言ったり、鳴き声を真似ていた。

4-②. 探究活動の実践（日本語でも英語でもなく、本当の動物のなきごえは？）

<活動の内容>②自由遊び中に動物のなきごえ図鑑を使って本当の動物のなきごえを皆で聴く。 10月

* 4歳児クラス：なきごえ図鑑で本物のなきごえを聞いたり、クイズを行ったりする。

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

本物の動物の鳴き声図鑑を聞くとそのリアルな声に友達同士顔を見合わせ微笑む姿が見られた。保育者に日本語の鳴き声、英語の鳴き声どちらで聞こえ方が尋ねられると「どっちもなんかちがうね」「ぶーぶーっていったよ」と言っていた。日本語の鳴き声に聞こえる子が多かったが、何度か聞くうちに「英語の鳴き声のほうでも聞こえる」と言う姿が見られた。



5-②. 振り返りと次回への問い

<振り返りによって得た先生の気づき>

【振り返り】鳴き声自体は同じだがそれをどう聞こえるかで英語と日本語で違いがあることを不思議がりながらも面白い姿が見られた。英語講師がいる場で鳴き声図鑑を用いた時には英語の鳴き声で言ってみようとしたり、英語の鳴き声で聞こえないかと意識して聞こうとする姿が増えていた。

【次回への問い】英語絵カードを違う種類にすることで、動物の鳴き声ではなく、また違うオノマトペに子どもたちはどのように気づき反応するだろうか？

4-③.探究活動の実践（英語絵カードを自由遊び中に使う）

<活動の内容>③自由遊び中に"Vehicle"(乗り物)の英語絵カードを使う 10月

* 4歳児クラス：自由遊び中に"Vehicle"(乗り物)の英語絵カードを使う

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

乗り物の絵カードを見ながら英語で乗り物の名前を答える姿が多かった。分からない乗り物の名前も、英語講師や保育士に聞きながら新しく知っていった。乗り物の音に関して「どんな音がすると思う？」という保育士の質問に「ぷっぷー」や「ガタンガタン」「プルプルプル」等それぞれが思う乗り物の音を擬音語で答えていた。

自由遊び中に保育士や英語講師と一緒に乗り物の英語カードを使って、乗り物の名前や音を知っていく。保育士の問いかけに乗り物の名前を積極的に英語で答えたり、乗り物の音を擬音語や口、音で表現したりと自由に言葉を発し表現していった。カードの中に「boat」というカードがあり、「ボートってどんな音がするんだろう？」という疑問からみんなでボートの音を調べ、保育士と一緒に聞くことで、新しくボートの音を知る事が出来た。ボートにも色々な種類があり、モーターボートと普通のボートの違いについても疑問に思う姿が見られた。



4-③. 探究活動の実践（英語絵カードを英語レッスン中に使う）

<活動の内容>③英語レッスン中に"Vehicle"(乗り物)の英語絵カードを使う 11月

* 4歳児クラス：英語レッスン中に"Vehicle"(乗り物)の英語絵カードを使う

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

英語講師が絵カードを出すと日本語で乗り物の名前を口にする姿が見られた。英語講師が英語で乗り物の名前を言うと、繰り返し英語で言葉にする様子だった。音楽に合わせて単語を言ったり、乗り物の真似をして遊んだり、乗り物になりきって楽しそうにする姿が見られた。実際に乗り物の音を声に出す姿もあり、トラックは「ププー」と表現したり、ヘリコプターは「ぶぶぶぶぶ」と表現していた。

- ・英語の絵カードを見せて、英語講師が乗り物の名前を英語で言葉にする。
- ・音楽に合わせて乗り物の名前を英語で言ってみる。
- ・乗り物になり身体で表現してみる。
- ・歌に合わせて講師や保育者と一緒に踊りを楽しむ。

英語講師や保育者と一緒に歌に合わせて乗り物を身体で表現していった。講師の真似をしたりと楽しく活動に参加する姿が見られた。自分なりに言葉で乗り物の音を表現したりと、想像を膨らませて遊んでいた。



5-③. 振り返りと次回への問い

<振り返りによって得た先生の気づき>

【振り返り】

乗り物のオノマトペにも興味を持ち、英語講師と一緒に言ってみようとする姿が見られた。身体で表現するのが楽しく喜んで行っていた。戸外で飛行機やトラックを見た時に保育者が問うと「ぶぶぶだったよ」と覚えている子もいた。

【次回への問い】英語講師、保育者も含めて子どもたちとオノマトペの絵カード遊びを通して子どもたちは擬音語や擬態語にどのように興味を深めていくのだろうか。

4-④. 探究活動の実践（オノマトペ絵カード）

<活動の内容>④保育者、英語講師と一緒に絵カード遊びをする：絵を見て子どもたちが擬音語、擬態語を言う。英語講師も英語で擬音語や擬態語を言う。 12月

*4歳児クラス：絵を見て子どもたちが擬音語、擬態語を言う。英語講師も英語で擬音語や擬態語を言う。

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

ピクニックの絵カードでは、「わくわく」「もぐもぐ」「ぼかぼか」等ピクニックを連想する擬音語が出てきた。魚の絵カードでは「すーいすい」「もぐもぐ」「ぱたぱた」「ばっちゃん」等、子どもたちが絵を見ながら自由に想像していった。絵カードでも音が中々出て来ない絵カードもあり、その際は音のヒントを保育者から伝えていった。伝えると、「こういう音もあるかも！」とヒントから想像して答える姿もあった。

保育者、英語講師と一緒に絵カード遊びをする。絵を見て子どもたちが擬音語、擬態語を言う。英語講師も英語で擬音語や擬態語を言う。絵カードを見ながら音を想像していった。一般的な擬音語も出たが、子どもたちがそれぞれ考えた擬音語も聞こえてきた。英語講師の英語でのオノマトペ（「星」なら「sparkle sparkle」）を聞いて真似をしたりと楽しむ姿が見られた。



5-④. 振り返りと次回への問い

<振り返りによって得た先生の気づき>

【振り返り】

保育者がヒントを出すと、子どもたちが考え想像し様々な擬態語・擬音語が出ていた。知らない表現の仕方を知ったりして、楽しみながら言葉を知ることができていた。

【次回への問い】 幼児クラスは英語で工作の時間があり、英語レッスンで学んだ単語にちなんだ工作を毎月行っています。英語で工作の時は英語講師が英語で説明し、保育者も日本語通訳をせず、工作の見本と一緒に作りながら参加し、子どもたちを手伝います。2024年度に読んだエリックカールの絵本"The very hungry caterpillar"と"Today's Monday"を再度英語で読み返し、子どもたちが主体的に、自分の「1週間なにを食べる表」を制作してみてはどうか？ 工作を通して、食べ物の擬態語、擬音語への興味も深まっていくのではないかと？

4-⑤. 探究活動の実践（英語で工作）

<活動の内容>①The Very Hungry Caterpillar、と Today Is Mondayの英語の読み聞かせを行い、その後自分の「1週間なにを食べる表」を制作する。 1月

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

・絵本の読み聞かせでは、①The Very Hungry Caterpillarの日本語バージョンを知っていることもあり、英語講師の読み聞かせを聞きながら「チョコレート」や「アイスクリーム」等見えた絵を日本語で声に発する子や、講師の真似をして英語で答えたりする姿が見られた。②Today Is Mondayの読み聞かせでは、講師と一緒に手遊びを行い、徐々に早くなる手遊びに楽しそうにする姿があった。

・クラフトタイムでは、自分の「1週間何食べる表」を作る。講師に「〇〇please」と声を掛け自分が食べたいものを自由に選ぶ姿が見られた。自分で考えながら、「月曜日にはリンゴを食べたいからりんごにする！」と保育者と話したり、出来た表を友だちと見比べたりと会話も楽しむ姿があった。

・クラスや帰りの会の際に英語講師から絵本の読み聞かせを行う。

講師の読み聞かせに集中して見入る姿や、知っている単語を口にしたり、日本語でも言葉にしたりと、楽しむ姿が見られた。

・クラフトタイムでToday Is Mondayの絵本に沿って自分の「1週間何食べる？表」を制作する。保育者の「〇曜日は何を食べるの？」という問いかけに自分なりに考え日本語で答えたり、教えてもらった英語で食べ物の名前を言う子も中にはいた。最後の発表では、講師と一緒に講師の英語を聞きながら話してみたり、歌を歌って楽しむ姿があった。



5-⑤. 振り返りと次回への問い

<振り返りによって得た先生の気づき>

【振り返り】 様々な食べ物の英語名を知ること、英語と日本語の食べ物名の違いに気づき、その違いを楽しむ様子だった。絵本では、日本語でもある「はらぺこあおむし」と「月曜日何食べる？」の絵本を英語で見る。「月曜日何食べる？」は知っている曲ということもあり、講師と一緒に楽しそうに手遊びに参加する姿が見られ良かった。

【次回への問い】 子どもたちはことばには日本語も英語もあり、またそれ以外に様子を表す擬態語や擬音語もあって、しかもそれらにも日本語や英語特有の音があることに気づいたかもしれない。また園には日本語や英語以外のことばを話す友だちもいることから、日本語英語以外の世界についても興味を持ち探究活動が広げられるのではないか。